

意見等		事務局回答
1	森林経営管理方針は、天然林も人工林も含めた話か。人工林だけなのか。	本計画の対象は公有林を除いた民有林です。人工林の森林整備が主となります。
2	前回の審議会を踏まえ天然林と人工林の解説がありよいが、経営管理方針へ入る段階で人工林に限る話の説明がないため、一般の人は天然林も含んだ長野市森林の総隊の話と誤解するので丁寧に書くべき。	第1編で書直しました。
3	年間伐採材積の算出に際し、人工林に限ると言いながら天然林も含んだ面積に対して算出しており齟齬が生じている。数字自体の信頼性がなく非常によろしくないで注意してほしい。	指標については修正しました。
4	補助事業の説明に関して、将来見直し可能な補助事業等についてカチツとした書き方をする必要はない。	P26からの補助事業の説明で大まかな説明に修正しました。
5	環境材や地球温暖化防止の機能などは森林が等しく持っているもの。その中で唯一人間がコントロールできるのが人工林であり、その人工林が崩壊の危機に直面しており、長野市としてこの危機を打開していきたいというのがこの計画書の根本だと考えている。	第1編で書直しました。
6	上記をを踏まえ、天然林は今緊急に何とかするのではなく、それはそれとして保全管理しているだけで、公益的機能が発揮されると考える。	第1編で書直しました。
7	上記2つを更に踏まえ、今長野市では、環境材として早急に手を付けていかなければいけないのは人工林であるというのが最初であれば見方が変わってくる。天然林と人工林がぼけていると計画がわかりづらくなる。この前置きがあり、コラムの中で、天然林と人工林の説明があり、その中で人工林の管理が喫緊の問題だということが持ち上がり、だから現状を示し、今すぐやっつけていかなければ示し、そのための対処方法としてP14以降が現実的であると示すことが、非常にわかりやすいのではないかと。大きく弄るのはたいへんなので、1文ちょっと加えることで読みやすさわかりやすさがずっと良くなるので取り入れてほしい。	第1編で書直しました。
8	全体の森林としての話があり、その中で人工林が今後どのような状況になっているのかという話があって、そこに対し、整備することが環境材として皆さんが期待している森林の機能を大いに高めることにつながるんだという話があって、本論に入っていくのがちょっとあると、非常に理解しやすくなる。	第1編で書直しました。
9	森林経営指標が林業適地に絞られ伐採に主眼が置かれ書かれているが、伐採後には地拵えで造林保育があるので、そこにも触れたほうがいい。	第3編に基本事項として加えました。
10	間伐は現状がほぼ切り捨てで、収量ではなく、本来の経営の法正の考え方はあくまでも収量であるため、将来的には搬出間伐にしていく方向性・補足・見通しを具体的に記載するべき。(岡野会長：現状はこういう形だけど一部書いてほしい)	P29の指標で搬出間伐による搬出量とし、1.5倍になるように記載しました。
11	PDCAサイクルの最後に、具体的な数字に基づいての一文を計画の見直しの前に入れると、今後より具体的に、より見やすいものに変えていける。	P35修正しました。
12	野生鳥獣による森林被害のところで、シカ皮剥ぎというのもダメージが大きいので追加してほしい。	P43 ニホンジカとツキノワグマの皮剥ぎについて記載しました。
13	資料2-2を改訂して計画に掲載してはどうか	基本方針の考え方を修正しました。ゾーニングを削除しているので掲載しません。
14	長野市は積極的に保安林化していくように思えました。そのような解釈で良いのか	そのようなことは、ありません。ゾーニングは誤解を生じるので削除しました。
15	林業適地のみを市が積極的に関与するのはいかがなものか。不適地こそ市が積極的に関与すべき	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
16	P4 コラム4の文章	P37の資料へ移動し文章を直しました。

意見等		事務局回答
17	P7 コラムのタイトル 公益的機能をとる	P38の資料へ移動し修正しました。
18	P8 コラム5の文章	P8へ移動し、文章を直しました
19	P9 林業機械図のタイトルは高性能大型林業機械に、脚注内台数は、主要林業事業者の保有数としたほうがすっきりするのでは。	P11 タイトルと説明文章を加えました。高性能林業機械は高性能大型林業機械とは一般的に言いませんので大型は入れていません。
20	P10 森林の実績の表	P10間伐の実績に修正しました。(細かすぎてわかりずらいため)
21	P11 コラム11 つる植物を切ります→ つる植物を除去します	P32 つる植物の根元で切るのみで除去しようとすると枝を痛める場合がありますので、修正していません。
22	P12 林業の担い手の確保と育成	P12 修正はしていません。実際に他産業と比較して、労災が多く賃金も低いからです。
23	P13 一番上の森林経営管理の方向性とか狙いが、こうした課題があるからこのように定めたといったものがあつたほうがつながると思う。	P13 将来像と基本方針に分けて記載しました。
24	P14 森林が機能するところはその崩壊すべてに係るものではなく、深層地滑り要因に起因することもあるため、書きすぎないように工夫が必要。	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
25	P14 赤い枠が特に重点をおいていきたいとのことであるが、実際に人工林の面積がここだけで本当に良いのか、赤い枠の守備範囲について検討してほしい。	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
26	P14 森林生産を進める森林の中の管理されている森林、されていない森林、この中に土壌が保全されている、流出しやすい、これは書かないほうが良い。多分、管理されている森林、されていない森林というように見た方がよい。こうした時に、右側の危険度が高まる方が管理されていない森林というのいかがなものかなということになるので、この書き方の工夫をすべきである。	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
27	P14 アンケート結果も出ているため、14Pにおいて水害かん養保安林もあえて入れてほしい。	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
28	P14の図 の「崩壊危険度」の定義があいまいである。誤解を生まないような表現をお願いします。	ゾーニングは誤解を生じるため削除しました。
29	P16 いきなり調査・集約化・団地作成とあるが、説明会等の合意形成段階を盛り込んでどうか。	説明文を追加しました。合意形成を図ると入れました。
30	P16 イメージ図へ説明の付け加え	P15 説明文を修正しました。
31	P18 の図。発信する相手が一般市民も全部ということであれば、丁寧に書いてほしい。切ったら植えるんだというような平準化を図っていくことが大事なんだということを書くことが大事。その辺のバランスに気を付けること。	指標を修正したので削除しました。
32	P19 林業不適地という言い方をやめ、その表現を19Pの表で表したということか。	林業適地、林業不適地、ゾーニングの考えは誤解を生じるため削除しました。
33	P20の経営管理指標の間伐の面積換算は良いと思う	P29指標については変更しました。
34	P20 指標の年40,000㎡は難しいと思います。新たな林業事業者の設立に森林環境譲与税が活用できないか。	指標について修正しました。新たな事業者の設立も大切ですが、今ある事業者の強化を進めていきます。
35	P31 「森林とふれあい体験事業」の補助要件の時間を見直してほしい。	補助要件の詳細は変更する場合がありますので書きません。
36	P37 皆伐の上限面積20haを超えないとあるが、20haは大きすぎないか。	長野県の地域森林計画に合わせています。